

鶴見川水系鴨居川洪水浸水想定区域図(計画規模)

- 凡例
- 浸水した場合に予想される水深(ランク別)
 - 0.0~0.5m未満の区間
 - 0.5~3.0m未満の区間
 - 洪水浸水想定区域の指定の対象となる河川
 - 河川等範囲
 - 市町村界
 - 区界



鶴見川水系鴨居川洪水浸水想定区域図(計画規模)

1 説明文

- この図は、鶴見川水系鴨居川の対象区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- この洪水浸水想定区域図は、現時点の鴨居川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率1/150(毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1/150(0.7%))の降雨に伴う洪水により鴨居川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- なお、このシミュレーションの実施にあたっては、鴨居川以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前堤となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合は、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- 作成主体 神奈川県
- 公表年月日 令和3年10月8日
- 告示番号 令和3年神奈川県告示第608号
- 根拠法令 水防法(昭和24年法律第193号)第14条第3項
- 対象となる河川
 - 鶴見川水系鴨居川(実施区間)
 - 左岸: 神奈川県横浜市緑区鴨居から鶴見川合流点まで
 - 右岸: 神奈川県横浜市緑区鴨居から鶴見川合流点まで
- 算出の前堤となる降雨 鶴見川流域の48時間総雨量405mm
- 関係市区 横浜市緑区
- その他計算条件等
 - この図は鶴見川水系鴨居川において、堤防のある区間においては危険となる水位に達し時点で破堤及び越水、堤防のない区間においては溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。
 - 氾濫解析は、対象区間を5m格子(計算メッシュという)に分割して、これを1単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基礎地図情報(数値標高モデル5mメッシュ)データを使用しています。このため、微地形による影響が表せていない場合があります。

「測量法に基づく国土地理院長承認(複製)R3JHF200」
 「本製品を複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。」